

## 理学療法 (PT : Physical Therapy)

### ○対象とするお子さん

- ・ 運動発達（座る、ハイハイする、立つ、歩くなど）が遅れている。
- ・ 身体がかたい・やわらかい・ぐらぐらしているなどのため姿勢がくずれてしまう。
- ・ 運動や動作がぎこちない、転びやすいなど。
- ・ 呼吸が苦しい、痰が出しづらいなど支援を必要としている。
- ・ 関節が硬い、関節変形が心配など。
- ・ 身体管理のため、または生活や学習などのために補装具などを必要としている。



### ○理学療法で行っていること

- ・ 先天性や後天性の疾患などのため、発達が遅れているお子さんに対し発達を促します。筋力をつけることや関節を動かしやすくすること、筋肉の緊張を整える等の介入を行い運動機能の向上や改善を促します。
- ・ 呼吸が苦しい、痰が出しづらい、反り返ってしまうお子さんに対して、快適な呼吸や姿勢を目指し介入します。
- ・ 日常生活での困りごとや出来るようになりたいこと、改善したいことに対して、お子さんとご家族の方が無理なく、より楽に行える方法や対策を提案します（抱き方や座らせ方、どのように遊んだら良いかなど）。また、二次障がい（変形など）への対応や機能低下と介助負担に配慮した介入を行います。
- ・ 乳児期：主に基本的運動能力の獲得と育児支援を行います。
- ・ 幼児期：運動機能の獲得と向上、幼稚園などへの参加を支援していきます。
- ・ 学童期以降：学校生活で困っていることへの支援を行います。そして、関係機関とも連携し、地域生活への参加を支援します。
- ・ 身体状況に応じて補装具や車椅子、座位保持装置などの情報を提供し、医師や製作者と連携して製作をお手伝いします。

